

研究課題名	人工知能を用いた医用画像及び線量データ解析による高精度治療の効率化を目指す研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科放射線腫瘍学 教授 永田 靖
研究期間	2019年6月20日(倫理委員会承認後)～ 2034年 3月30日
対象者	1990年4月から2034年2月の間に、広島大学病院放射線治療科で放射線治療を受けられた患者。
意義・目的	放射線治療では治療前に様々な画像を撮影し治療の方法、範囲などを検討しています。この研究では様々な画像や検査、病変の治癒率など予後の情報をコンピュータに入れておき、人工知能などで解析、学習することでこれらの情報の結びつきが明らかとなります。これによって今後の治療を行う上で不必要な画像、検査の削減、さらに治療効果を患者さんお一人お一人に提示することができます。
方法	本研究は、全て診療で使用したMRI・PET・CT画像、線量検査結果、カルテの情報(年齢、性別、照射歴、治療開始日、治療終了日、血液データ、病理データ、遺伝子データ)のみを転記して行います。転記する情報はあらかじめ匿名化处理を行っておき、当院のデータベースに保管、および神戸大学病院にもセキュリティで管理されたサーバー経由にてデータ提供致します。(個人が特定出来る情報は転記しません) 試料・情報の提供機関より提供された情報のつきましても、同様の対応を致します。
共同研究機関	神戸大学病院 矢田 隆一
試料・情報の提供機関	新潟大学病院 中野 永 産業医科大学病院 芝 栄志 呉医療センター 好村 尚記
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科放射線腫瘍学 教授 永田 靖
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
研究の実施について	研究に関しては広島大学担当理事の許可を得て実施しております。
研究対象者に生じる負担、予測される利益やリスク	

新たに検査や治療を受けていただくことはありませんので特に負担はございません。本研究の成果によっては治療効果の改善、不要な検査の削減などが図れます。

#### 情報公開の方法

この研究の成果は、個人が特定できないよう匿名化した上で、学会発表や学術雑誌等で公表されます。

#### 研究計画書・研究方法に関する資料の入手・閲覧

ご希望がありましたら下記の問い合わせ先にご連絡ください。

#### 試料・情報の保管及び廃棄方法

取得したデータは匿名化して保管し、研究終了5年後に保存に使用したハードディスク等を処分致します。

#### 研究の資金源、利益相反に関する状況

本研究の資金は本学の運営費交付金となります。利益相反は特にございません。

#### 問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

広島大学大学院医系科学研究科放射線腫瘍学

職名： 助教 氏名： 河原 大輔

連絡先電話番号： 082-257-1545

e-mail： daika99@hiroshima-u.ac.jp

研究機関： 広島大学